

開講学科	生物工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	バイオ技術英語 I	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		3年次	必修	17103501	
担当教員	生物工学科全教員	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	月曜日	2時限
授業の教育目的・目標	バイオ関連の企業や機関で活躍できる科学技術者を養成するために必要となる生物工学の各研究分野で使われる専門用語やその内容の理解、また技術英語能力の獲得を、関連するテキストや研究論文等を通じて教授することを目的とする。さらに実用英語能力の向上も目的とする。				
学科の学習・教育目標との関係	4年次に配属される研究室では、その研究室に関連する専門知識の習得が中心となるが、生物工学科の学生として習得して欲しい幅広い生物工学の分野で使われる専門用語やその基礎知識、技術英語を、本講義を通じて習得させる。実用英語能力の向上のための TOEIC ソフトの自習を課す。				
キーワード	有機化学、天然物化学、農学、栽培学、食品化学、環境工学、生化学、食品機能学、発酵学、微生物学、植物生理学、生理学、細胞工学、TOEIC				
授業の概要	各研究分野に関する論文やテキストを精読して、専門用語やその内容、技術英語を覚えると共に、その内容についての理解を深める。また TOEIC ソフトの自習を課す。				
授業の計画	第1回： 本講義のオリエンテーション 第2回： 有機化学関係の論文（本多） 第3回： 天然物有機化学分野の論文（本多） 第4回： 農業・栽培分野の論文（本間） 第5回： 食品・環境バイオ分野の論文（本間） 第6回： Biochemistry text（門屋） 第7回： Biotechnology topics（門屋） 第8回： 酵母の接合性の論文（尾形） 第9回： 酵母の接合性制御の論文（尾形） 第10回： 食品機能学分野の論文（薩） 第11回： 発酵食品に関連する微生物の教科書（林） 第12回： 植物の構造や機能に関する論文（中山） 第13回： 感覚器についての科学論文（星） 第14回： 胚性幹細胞、iPS細胞に関する論文（善野） 第15回： 体性幹細胞、Muse細胞に関する論文（善野）				
受講条件・関連科目	関連科目：バイオ技術英語 II				
授業方法	事前にあるいは講義時に担当教員から指定・配付された論文やテキストを精読し、授業時に内容の紹介、質疑応答、議論を行なうことで進める。また、専門用語やその内容については、担当教員より適宜解説を行う。TOEIC については ALC-NetAcademy の自習を課す。				
テキスト・参考書	各担当教員より資料の配付やテキストの指示が行われる。また、ALC-NetAcademy を自習する。				
成績評価	発表、レポート、ALC-NetAcademy の自習状況等を総合的に評価する。採点基準は、S:90点以上、A:80点以上90点未満、B:70点以上80点未満、C:60点以上70点未満、D:60点未満とし、S、A、B、Cは合格、Dは不合格とする。				
履修上の注意	全回出席すること。受講態度も考慮する。 ALC-NetAcademy については、自習すべきコース、時間等を指定する。				